2022年上期

陸上競技部による海外レースでの活躍

2022年9月～10月にかけて、当社陸上競技部の選手が海外レース3大会に出場しました。

9月18日に行われたコペンハーゲンハーフマラソン（デンマーク）では、田村友佑選手（23）が日本人トップとなる24位（1時間01分44秒）の記録を達成し、同月25日のベルリンマラソン（ドイツ）では、土井大輔選手（26）が自身のセカンドベストとなるタイム（2時間09分40秒）を記録し12位（日本人4位）でゴールしました。

また10月9日に行われたシカゴマラソン（アメリカ）では細谷恭平選手（27）が日本人トップの6位（2時間08分05秒）でゴールし、自身にとって初のワールドメジャーレースで6位入賞を果たしました。

今後も駅伝・マラソンをはじめとした各レースで優秀な成績を収められるよう、日々の練習に励んでまいります。

6位入賞を果たす細谷選手

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金の配当の基準日	○期末配当実施の場合……3月31日 ○中間配当実施の場合……9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページ（https://www.krosaki.co.jp/）に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京（プライム）・福岡
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
照会先	0120-782-031 受付時間／土・日・祝日を除く 9:00～17:00 インターネットホームページURL https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記のお問合せ先にご連絡ください。

■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、日本証券代行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しています。

お問合せ先　0120-707-843
（受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く9:00～17:00）

黒崎播磨株式会社（証券コード:5352）
〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号
URL.https://www.krosaki.co.jp/
TEL.093-622-7224
FAX.093-622-7200

Green Power　このパンフレットを印刷・製本する際の電力（100kWh）は自然エネルギーでまかなわれています。
VEGETABLE OIL INK　このパンフレットは植物油インキを使用しています。

株主のみなさまへ

第132期第2四半期のご報告

2022年4月1日から2022年9月30日まで

ごあいさつ

代表取締役社長
江川 和宏

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの当期の経営成績は、主要顧客である国内鉄鋼業界の減産に加え、円安影響を含む原料・調達品・エネルギー価格上昇に直面する中、コスト上昇分の着実な販売価格転嫁、生産性の向上、堅調なインド鉄鋼市場における事業拡大、並びに非鉄分野向け拡販により、前年同期比・前期比ともに増収増益となりました。

足下、地政学的リスクや各国の金融経済政策等、外部環境が極めて不透明な状況にあるものの、各事業の取り組みにより、短期的には過去最高の経常利益達成を目指すとともに、中長期的には2025経営計画で掲げた各種施策の確実な実行、SDGsの取り組み深化とカーボンニュートラルへの弛まぬ歩みを通じ、事業成長とサステナブルな社会づくりへの貢献を引き続き推進してまいります。

国内耐火物事業では、鉄鋼業界における製造プロセスを含めた中長期的な構造変化を見据えつつ、当社国内工場の自動化・省力化投資や業務のデジタル化推進による競争力強化を継続的に実行します。

海外耐火物事業では、成長するインド市場で本年確立した主要品種フルメニュー生産体制の本格戦力化による拡販に加え、欧州・米州におけるアライアンスパートナー企業と当社製造拠点との連携深化による非鉄分野を含めた需要の確実な捕捉により、グローバル事業の一層の拡大を進めます。

ファーネス事業では、製鉄所内整備作業および大型工事案件の受注拡大とともに、バイオマス発電ボイラー等、非鉄・環境炉ユーザー向けの新規案件やメンテナンス案件への対応により事業拡大を推進します。

セラミックス事業では、半導体製造装置・電子部品向け製品の更なる受注拡大とともに、今後成長が見込める燃料電池向け断熱材、宇宙・医療等の新規分野向け製品の需要に引き続き対応することで、事業基盤の拡充を進めます。

株主のみなさまにおかれましては、今後更なるご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

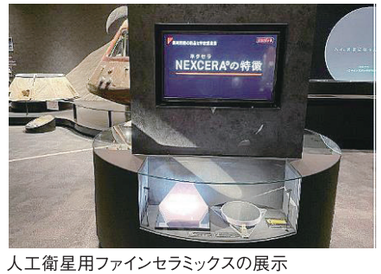
2022年上期

北九州市科学館『スペースLABO』への展示品寄贈

当社は2022年4月にオープンした北九州市科学館『スペースLABO』に、地元のものづくり企業として展示品一式を寄贈しました。2階の企業展示エリアには非接触型の耐火物製造体験ゲームと耐火物および原料のサンプルを含む展示品を、3階の宇宙展示エリアには人工衛星用ファインセラミックス（JAXAとの契約による試作品）の展示品を寄贈しました。未来を担う子供たちが科学やものづくりに対して興味を持つ機会を提供できればと考え、寄贈させていただくことと致しました。

今後も地域との共生に向けた取り組みを積極的に推進することで、地域の皆さまからの期待と信頼に応え続ける企業を目指します。

耐火物・原料のサンプル展示



人工衛星用ファインセラミックスの展示

経営成績の概況（連結）

売上高	805.9	億円

売上高

当社グループの主要得意先である鉄鋼業界の国内粗鋼生産量は、前年同期に比べ7.5%減の4,480万トンとなりました。耐火物事業における原料価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁に加え、堅調なインド鉄鋼市場での事業拡大並びに非鉄分野向け拡販により、売上高は、前年同期に比べ23.8%増収の805億91百万円となりました。

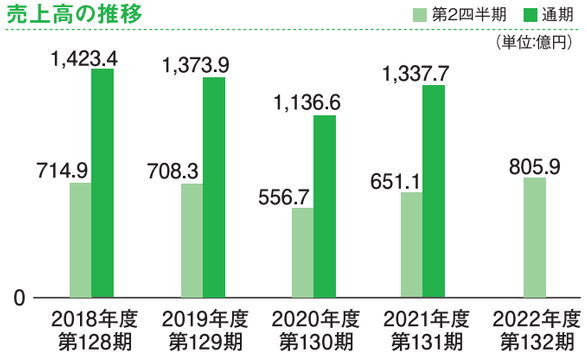
営業利益	49.1	億円
経常利益	56.8	億円
親会社株主に帰属する当期純利益	35.7	億円

利益

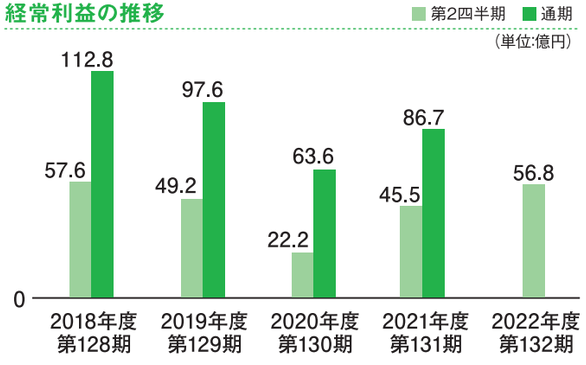
売上高の増加等により、営業利益は、前年同期に比べ16.7%増益の49億14百万円、経常利益は、前年同期に比べ24.7%増益の56億85百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ18.5%増益の35億76百万円となりました。

連結決算ハイライト

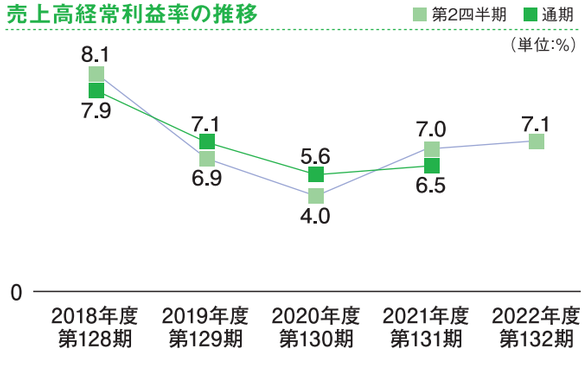
売上高の推移



経常利益の推移



売上高経常利益率の推移



セグメント別の経営成績と概況

※売上高構成比は四捨五入の関係上、合計が100.0%にならないことがあります。

耐火物事業

売上高構成比 **85.2%**

売上高 **687.0億円**

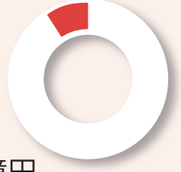
インド鉄鋼市場等での耐火物拡販および販売価格転嫁により増収増益

原料価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁に加え、堅調なインド鉄鋼市場での事業拡大並びに非鉄分野向け拡販により、売上高は、前年同期に比べ28.0%増収の687億1百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ23.8%増益の36億43百万円となりました。

ファーネス事業

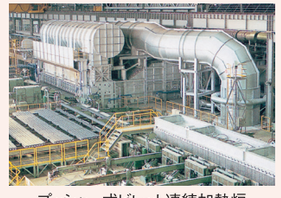
売上高構成比 **8.7%**

売上高 **69.9億円**



大型工事案件の受注およびコストダウン等により増収増益

大型工事案件の受注により、売上高は、前年同期に比べ8.3%増収の69億99百万円、売上高の増加及びコストダウン等により、セグメント利益は、前年同期に比べ62.1%増益の4億11百万円となりました。



プッシャー式ビレット連続加熱炉

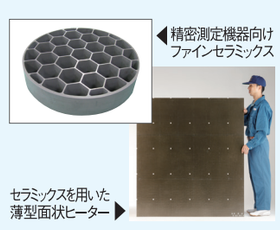
セラミックス事業

売上高構成比 **5.1%**

売上高 **41.3億円**

中国ロックダウンの影響による燃料電池向け断熱材の減少等により減収減益

電子部品向けセラミックス材料の需要が好調であったものの、中国ロックダウンの影響による燃料電池向け断熱材の減少等により、売上高は、前年同期に比べ2.7%減収の41億37百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ20.7%減益の5億52百万円となりました。



不動産事業、その他の事業

売上高構成比 **0.9%**

売上高 **7.5億円**

【不動産事業】

売上高は、前年同期に比べ横ばいの3億68百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ0.5%増益の3億円となりました。

【その他の事業】

売上高は、前年同期に比べ6.6%増収の3億83百万円、セグメント損益は、コスト上昇分の販売価格反映期間差により、前年同期に比べ95.1%減益の0百万円となりました。

当社の賃貸物件